

平成 30 年 5 月 春日町図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 30 年 5 月 25 日（金） 13 時 00 分から 13 時 40 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館（以下「光」） 光が丘図書館長、管理係長、運営調整係長・係員（3）、事業統括係長、子供事業統括係長</p> <p>(2) 春日町図書館指定管理者（株式会社ヴィアックス）（以下「春」） 春日町図書館長、同館業務従事者、本社スタッフ（3）</p>
内容	<p>① 施設運営体制について</p> <p>（光）施設修繕等の予定はあるか。 →（春）空調そのものが古くなってきており、近年では毎年のように空調の不具合が続いている。今年も、空調の切り替え点検の際に部品の劣化が判明し、使用時には音になるため、部品を取り替える予定である。その他に、トイレのウォシュレットの取付けも行いたいが、こちらは後回しになってしまっている。</p> <p>（光）ギャラリーの利用について →（春）報告書には、一般団体への貸出しや展示を行った回数を記載している。パネル展示や書道展示などを行っており、定期的に利用している団体もある。</p> <p>（光）新聞閲覧優先席の設置後の状況は。 →（春）これまでは閲覧スペースを特に決めていなかったが、新聞閲覧優先席を設けたことにより、新聞閲覧をする方が周りをあまり気にすることなく読めるようになったと思う。</p> <p>② 職員体制・会計収支について</p> <p>（光）今年度の職員体制について →（春）昨年度とほぼ同様だが、非常勤スタッフを増員した。増員した後も、うち区民の割合が 6～7 割と高い水準を維持している。</p> <p>（光）今年度の職員研修について →（春）基本的には昨年度を踏まえた研修内容だが、法人実施の研修を強化し、毎月のフォローアップ研修による職員のスキルアップを図っていきたいと考えている。</p> <p>③ 事業計画について</p> <p>（光）デジタルサイネージのコンテンツはどのようなものがあるか。 →図書館の開館時間や会議室等の施設利用案内、館内案内図などを掲載している。現在はねりま若者サポートステーションに案内ページを作成してもらっており、完成後掲載をする予定である。今後は地域の情報を発信していくような運用の仕方を考えている。</p> <p>（光）毎月 3 回行っているアロマについては。 →興味をもっていただいております、アロマを行う時間帯に合わせて来館する方もいる。香りについても 4～5 種類用意し、来館するたびに違う香りを楽しんでいただけるよう工夫している。また、アロマの関連本の展示も行っており、貸出につながっている。</p>

(光)「ねりまゆる×らく体操」の評判は。

→参加者にはたいへん好評をいただいた。実施前に、関連資料をいただけるよう健康推進課に連絡をしたところ、すぐに送ってもらい当日に配ることができた。

(光) 絵画展示について

→春日町図書館で貯蔵している絵画のレプリカが 20 点ほどあり、ギャラリーに展示することで皆様にも見ていただけたと考え展示を行った。来館者の反応はとてもよく、お褒めの手紙もいただいた。今後定期的に行っていけるとよいと考えている。

④ 児童サービス事業について

(光)「こどもひろば探検クイズ」について

→(春) これまでとやり方を変え、子供が率先して本を手にとって読んでもらえるようにした。背表紙に番号を付けた図書を用意し、ガチャガチャを引いて当たった番号に該当する図書の問題に 3 問正解すると記念品をプレゼントするというもの。参加した子供は熱中している様子で、リピーターもいたようであった。

(光) ねりま若者サポートステーションとの協働について

→(春) 5 月にねりま若者サポートステーションの説明会を図書館で実施した。直接ねりま若者サポートステーションまで行くよりも、図書館で行うことにより気軽に立ち寄ってもらえるメリットがあったと考えている。

(光) 今後もねりま若者サポートステーションと協働のできる事業等があるか模索いただけるとよい。

→(春) 承知した。

(光) 10 月に予定している春日町まつり(町会主催の地区祭)への参加について

→(春) 地区祭へは数年前から参加している。当日はおはなし会を行い、図書館を積極的に利用していただけるようにアピールをしている。また、図書館以外にも、リサイクルセンターやねりま若者サポートステーションも参加しているため、そういった団体とつながりも持つことができる良い機会になっている。

(光) 学校との連携について、課題や困っていることは。

→(春) 学校間での図書館に対する意識の差が感じられる点が課題と考えている。図書館の利用について積極的に関わりを持とうとする学校もあれば、あまり積極的でない学校や先生もいると感じる。学校全体や先生方の意識をより積極的なものに変えていくことが今後の課題と考える。

(光) 学校図書館システムの導入にあたり蔵書登録を行うため、7 月 21 日以降の 1～2 週間、中学校の学校図書館を閉鎖することとなる。6 月の初めには各学校に通知文を送る予定である。

→(春) 承知した。